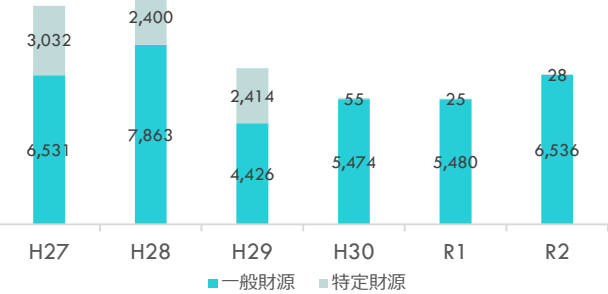
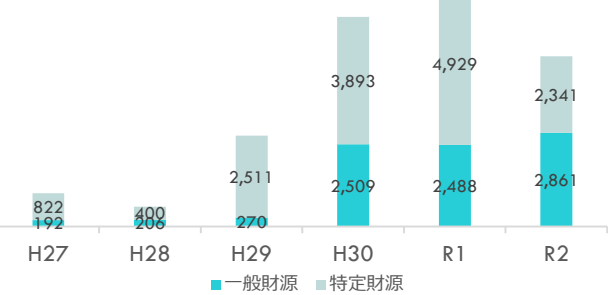


建設課

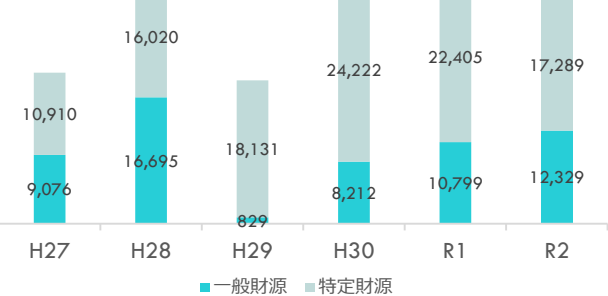
経常的経費の財源(万円)



臨時的経費の財源(万円)



普通建設事業費の財源(万円)



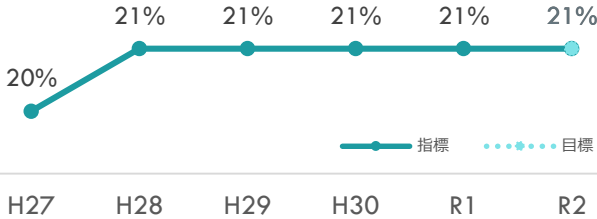
現状と課題

生活道路である市道については、老朽化したり、幅員の狭い道路が残されていることから、市民にとって安心・安全な道路となるよう、緊急性などの優先順位により整備していく必要があります。また、多くの市道、橋梁が耐用年数を迎つつあり、今後の安全性を確保するため、これまでの事後対応から計画的かつ予防的な対応へ転換し、長寿化によるコスト縮減を図っていく必要があります。

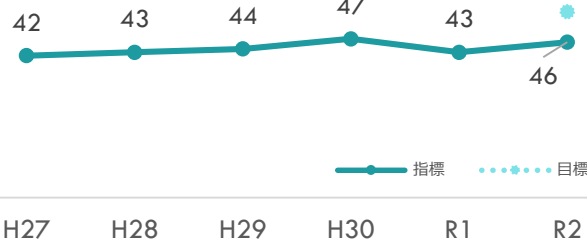
国道2号をはじめ市内の幹線道路については、朝夕の通勤時間帯の渋滞や多くの箇所でも事故が発生しています。加えて、整備が連続していないミッシングリンク（拠点間の未整備区間）が円滑な交通を阻害しているところもあり、その解消に向け、国や県に要望をしていく必要があります。

成果指標

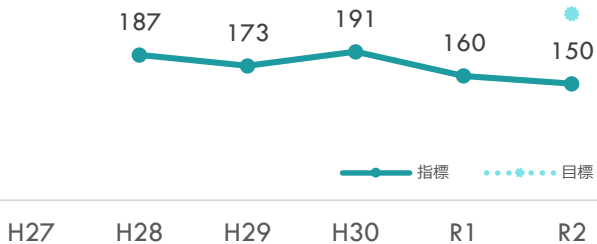
市道整備率（幅員4m以上の市道延長／市道実延長）
(%)



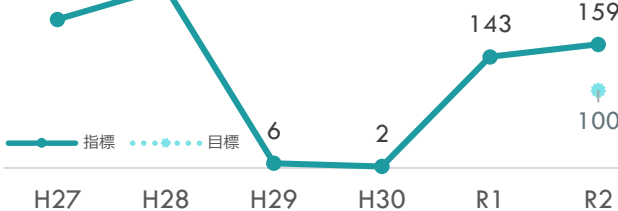
道路維持管理ボランティア団体登録数（団体）



道路維持管理ボランティア団体活動回数（回）



橋梁の点検実施数（全体502橋のうち、年間約100橋点検を行う計画）（橋）



指標の説明・・・

市道整備の進捗状況を示すものとして整備率を記載し、市民の生活道路として安全性を確保するため、事業を推進していきます。また、市道の維持管理を補完するため、市道・市管理河川等ボランティア推進事業を実施しており、この団体登録数や活動回数を増やしていくことが、市民の公共施設に対する関心の高まりや適切な施設管理の状況を表していると考えます。

橋梁の点検については、平成30年度に市内502橋の点検が完了。法律により5年に1回の点検が義務付けられていることから、引き続き橋梁の点検を実施します。

政策8 快適な生活が送れるまち				施策04 道路環境の整備			
課題に対する主な取組							
課題	課題に対する主な取組	概要	臨経区分	予算執行(万円)	特定財源(万円)	アウトプット (どのくらいの事業や取組を行ったか)	アウトカム (どれだけの成果が得られたか)
計画的な橋梁点検・補修工事	橋梁長寿命化計画	市管理橋梁の点検・補修工事	臨時的経費	4,785万円	2,213万円	点検箇所 N=159橋 補修工事 N=6橋	修繕箇所の早期発見により、補修費用が縮減できた。
計画的な市道整備	社会資本整備事業	道路新設改良工事	普通建設事業費	2億1,024万円	955万円	工事件数 N=28件	用地協力が得られた箇所から工事を行い、安全で円滑な道路整備ができた。
計画的な道路維持	道路維持管理事業	道路補修工事	道路建設事業費	2,644万円	—	修繕件数 N=25件	補修工事の早期発注により、道路の安全性を確保することができた。
県への要望強化	岡山県管理の道路事業を要望	県道備前牛窓線	-	-	—	道路改築要望 N=6件	懸案事項であった松本橋の拡幅について、事業採択された。
市道の維持管理	ボランティア団体登録数を増やす	申請等の簡素化、申請時期の長期化を行う。	臨時的経費	160万円	—	支払事務簡素化に向けて要綱改正を実施	概算払(前払)申請件数が半減(R3申請分)となり、申請の簡素化に向けた一歩となっている。

施策の評価			
一次評価者	役職	建設課長	道路環境の整備は、市民からの要望の高い事業である。その中の橋梁部分については、長寿命化計画に基づき計画的に実施されている。また、道路新設改良事業は県事業、市事業に関わらず、地権者の協力が必須であり、地元、関係者と連携し事業を速やかに進めて行く必要がある。 道路維持管理事業においては、ボランティアによる地元協力が重要であり、今後も協力をお願いしていかねばならない。 道路環境の整備はまちづくりにおいて重要な施策であり、今後も特定財源を確保し実施していく必要がある。
	氏名	大森 康晴	
二次評価者	役職	建設部長	道路は市民生活の利便性の向上、地域経済の活性化など日常生活を送るうえで必要不可欠な施設です。幹線道路の整備は地権者はもとより関係機関と十分に協議し整備を進めてください。又、生活道路は主に維持管理に努め、地域住民と協議しながら危険、緊急性、効率を判断し優先順位を決め整備を進めてください。
	氏名	淵本 安志	